産学・地域
協働推進機構

INSTITUTE FOR THE
PROMOTION OF
BUSINESS-REGIONAL
COLLABORATION

https://www.mcip.hokudai.ac.jp/

北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 産学官連携ポリシー

北海道大学は、教育と研究という基本使命に加えて、研究成果の社会還元を「第三の使命」として位置づけ、
次のとおり産学官連携ポリシーを定めます。

1. 北海道大学は、その基本理念と長期目標に則り、長期的視野を持った基礎研究から
社会の要請に応える応用研究まで、創造性豊かな研究を行い、その成果を積極的に社会に還元します。

2. 「知の時代」を迎え、共同研究や受託研究をはじめとして、国内外の各方面との多様な連携を推進し、知の活用に努めます。

3. 新しい技術や産業を産み出す創造的研究環境の充実を図り、新産業の創出に貢献します。

4. 連携に当たっては、相互の知的財産を尊重するとともに、これを教育と学術研究の促進に役立てます。

5. 地域性を活かした知の活用に積極的に取り組み、北海道に根ざした産学官連携活動を通じて、
地域社会の発展に貢献します。

6. 研究成果の社会還元による対価を教育と研究の質の向上に反映させるため、
知的財産マネジメント体制を充実させます。

7. 産学官連携の健全な発展を図るため、本学教職員は「利益相反マネジメントポリシー」
を遵守し、社会への説明責任の下に、公正かつ円滑に連携活動に従事します。

本学における知的財産のポリシー

共同研究は、大学の教職員と民間機関等の研究者が、契約に基づき、対等の立場で共通の課題について研究に取り組むことにより、優れた研究成果が生まれることを促進する制度です。研究に必要な経費は企業にご負担いただき、本学教員と共同または分担して研究を行います。企業等から研究者を受け入れ、本学の研究施設にて研究することもできます。(民間等共同研究員)

企業等との共同研究等による発明及び特許の取扱いに関する基本方針

この方針は、企業等と国立大学法人北海道大学(以下「本学」という。)との共同研究等から創出された発明及び特許(以下「知財」という。)の取扱いに関する本学の基本的な考え方を示すものです。

1. 権利の帰属について
共同研究等の成果として発明が得られた場合、発明への貢献度により権利の持分を決定します。

2. 共同研究等から創出された本学の単独知財について
(1)企業等から実施許諾の要望がある場合は、企業等に出願等費用全額のご負担及び実施料の支払いを求めます。
(2)企業等から譲渡を求められた場合は、譲渡交渉等のご相談に応じます。
(3)企業等から譲渡又は実施許諾のご要望がない場合は、出願等の是非も含めて、本学の裁量で適切に取り扱います。

3. 共同研究等から創出された本学と企業等の共有知財について
(1)企業等に出願等費用全額のご負担を求めます。
(2)企業等が独占的に実施する場合、本学は独占の対価及び実施料の支払いを求めます。
(3)企業等が非独占的に実施する場合、本学は原則として実施料の支払いを求めますが、本学の共有知財に対する貢献度、第三者へのライセンス可能性等を踏まえ、個別の事案に応じて協議させていただきます。なお、企業等が非独占実施を望んだ場合であっても、当該企業等以外が実施することが困難であるような場合には、企業等による独占実施であるとみなし、(2)に準じた取扱いとします。
(4)企業等から本学持分の譲渡を求められた場合は、譲渡交渉等のご相談に応じます。

4. 組織対応型連携契約に基づいた共同研究による知財については、上記内容とは別の取扱いとすることがあります。

5. 共同研究等の成果として得られたプログラム等の著作物、実用新案等についても上記と同様の取扱いとします。

令和元年6月1日　国立大学法人北海道大学 産学・地域協働推進機構
(令和4年4月1日改定)

POLICY

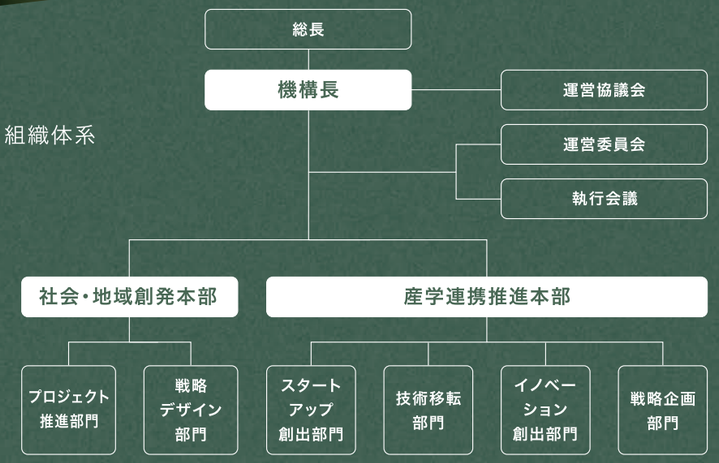
ABOUT 産学官連携について

北海道大学では、産学官連携ポリシーを定め、大学で成された研究成果の社会還元を具体化する組織として、産学・地域協働推進機構は産業界等と連携し、右記の活動を行っています。

- 知的財産の発掘、権利化、活用等に関する業務
- 知財を核とした、共同研究の推進
- 組織型産学連携の推進
- 大学発スタートアップ支援および起業家育成(アントレプレナーシップ)教育の実施
- 北大ブランド商品の企画・開発
- 大学における産学・地域協働のワンストップ窓口

ORGANIZATION 組織体系

- 総長直下に、産学・地域協働推進機構を配置し、機構長は総長が指名する理事が務めます。
- 運営委員会を設置し、重要事項について決議します。
- 知的財産委員会を設置し、職務発明規程に関する異議申し立て等について審議します。
- 産学連携推進本部は、本学の知的財産の活用の推進、産学協働の推進及び産学協働を担う人材育成を行います。
- 社会・地域創発本部は、地域協働の推進及び地域協働を担う人材育成を行います。



産学連携の種類　北海道大学の産学連携には大きく分けて4つのかたちがあります。

学術指導　研究促進　事業化推進　アフターフォロー

学術コンサルティング ▶ 共同研究・受託研究 ▶ 産業創出講座 ▶ 学術コンサルティング

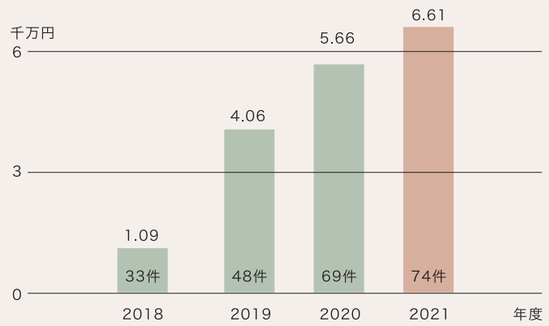
01 ACADEMIC CONSULTING

学術コンサルティング

企業等からの依頼に基づき本学の教職員が、専門的知識に基づいて指導又は助言を行う制度。

最新の知見を持つ北大の研究者から、学術相談や技術指導などのコンサルティングを受けられます。

【研究費】両者協議で決定　【間接経費】30%
【契約期間】時間・月・回数等　【最終目標】課題解決/プレ共同研究



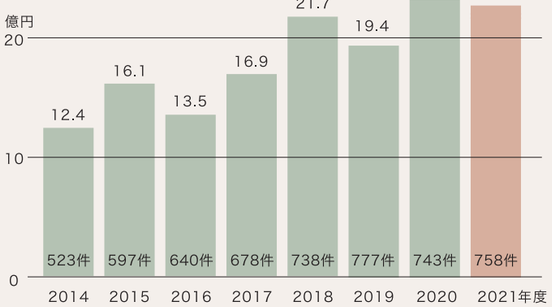
02 COLLABORATIVE RESEARCH

共同研究

本学の教員と企業等の研究者が、対等の立場で共通の課題について共同で研究を行う制度。

企業だけでは解決できない課題を、最新の知見を持つ北大研究者と共同して研究を行うことができます。

【研究費】平均300万円/年(R2年度実績)
【間接経費】30%　【研究場所】研究室
【契約期間】任意　【知財の取扱い】発明の貢献度による
【最終目標】研究成果の創出/実証研究



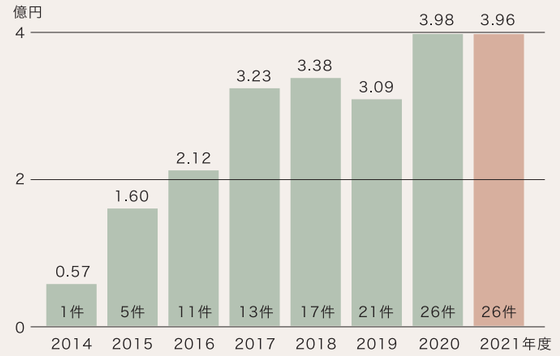
03 INDUSTRY CREATION

産業創出講座

本学と企業等がイコールパートナーシップの下、双方からの研究者が参画し、本学内にラボを創設。継続的な共同研究を実施する制度。

専属コーディネーターの支援や大学の最新設備もフル活用！
組織対組織型の大型共同研究が行えます。

【研究費】原則2,000万円以上/年
【間接経費】30%　【研究場所】大学内に企業ラボを設置
【設置期間】2年~5年(更新可)　【知財の取扱い】契約に基づき、柔軟に対応
【最終目標】事業化/製品化
※ラボ賃料及び企業からの研究者派遣受け入れに伴う費用が生じます。



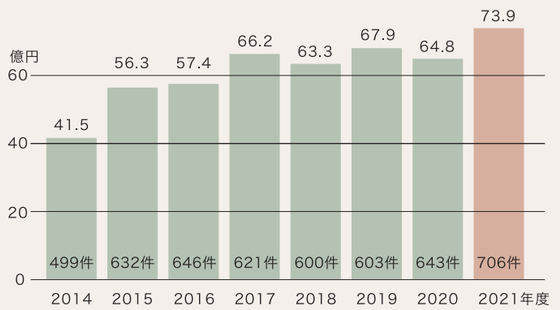
04 COMMISSIONED RESEARCH

受託研究

企業等からの委託を受けて、本学の研究者が、契約に基づき研究を行い、その成果を委託者に報告する制度。

研究については「お任せ」いただき、北大の研究者が単独で研究を行った成果を委託者に報告させていただきます。

【研究費】両者協議で決定　【間接経費】30%　【契約期間】任意
【知財の取扱い】原則、本学帰属　【最終目標】受託の目的による



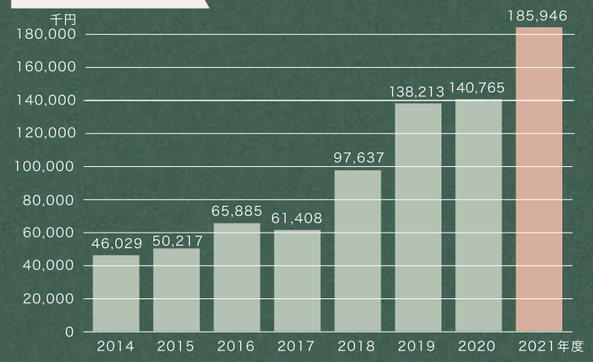
知的財産の管理と活用　INTELLECTUAL PROPERTY

北海道大学では、研究成果の社会還元による対価を教育と研究の質の向上に反映させるため、知的財産マネジメント体制を充実させています。

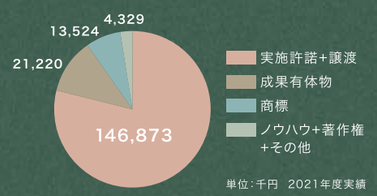
産学連携推進本部で取り扱う業務

◎知的財産権の出願と維持・管理
（特許権・意匠権・商標権・実用新案権・育成者権）
◎技術移転契約（実施許諾・譲渡）◎成果有体物提供契約
◎プログラム、ソフトウエア著作物の使用許諾契約 等

知的財産権等収入

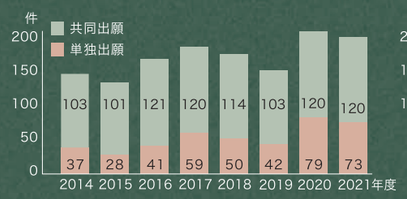


知的財産権等収入の内訳

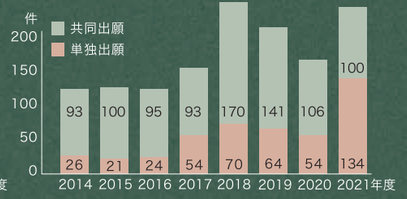


単位：千円　2021年度実績

国内出願



外国出願



特許ライセンス契約

本学が保有する特許権等のライセンスをご希望の場合には、本学とライセンス契約を締結いただきます。契約は、特定の企業のみが独占的に特許発明を実施できる「独占的通常実施権」、複数の企業が特許発明を実施できる「非独占的通常実施権」の他、オプション契約などがあります。

臨床研究データライセンス契約

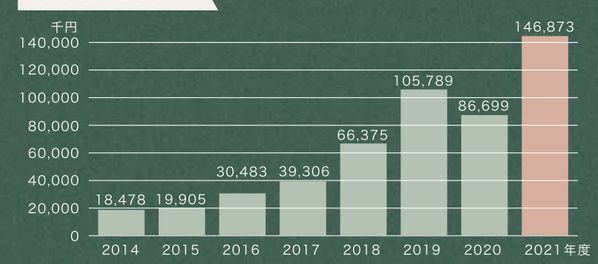
本学が実施した臨床研究等により、得られたデータ等を利用する際に必要となる契約です。臨床研究データ等の学術上及び産業上の利用の促進に資することを目的としています。

成果有体物提供契約（MTA）

成果有体物とは、研究の成果として、又は研究を行う過程において得られた試薬、試料、実験動物、菌株等の有体物をいい、提供にあたり成果有体物提供契約（MTA:Material Transfer Agreement)の締結が必要になります。化合物やデバイス、装置なども同様に取り扱われます。

※上記契約に加え、本学知的財産権に関する契約には、秘密保持契約、ノウハウライセンス契約があります。

特許権実施等収入



商標・ブランド使用許諾契約

本学の研究成果や成果物を活用して開発された商品に対し、本学のシンボルマークや名称使用を希望される場合は、商標使用許諾契約を締結しています。これらの商品は「北大ブランド認定商品」として機構のHP等でも紹介しています。

HOKUDAI GAGOME 北大ガゴメ®

START UP スタートアップ創出

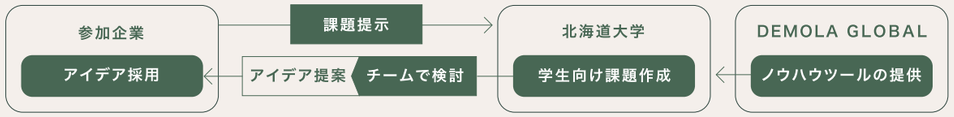
■ アントレプレナーシップ育成

産学・地域協働推進機構では、グローバルに活躍できる人材、地方創生の核となる人材の輩出を目指し、アントレプレナーシップ育成プログラムを実践しています。起業家、イノベーター、ベンチャーキャピタリスト等とのネットワークを活かし、起業家精神を高める講義やワークショップ、同じ志をもった仲間が切磋琢磨できる環境を提供。新しい事業を構想し、それを具体化できる人材の育成を目指しています。

スタートアップ創出プロジェクト

DEMOLA
HOKKAIDO

DEMOLAは企業と学生を結びつけるイノベーションプラットフォームです。フィンランドで生まれたこの取り組みは、世界16か国60以上の大学が参加している国際的なプロジェクトです。北海道大学は日本で初めて2018年に、この取組を導入しました。



課題提供企業は、学生チームの生み出したアイデアが気に入った場合には、学生チームからそのアイデアを利用するためのライセンスを受け、事業化へと繋げていきます。学生達は、課題提供企業へのライセンスを行う対価として課題提供企業から報奨金を受け取ることができます。一定の条件がそろった場合、大学/大学院の単位を得ることもできます。

■ 起業支援

広域エリア統合インキュベーション拠点「HX（エイチクロス）」

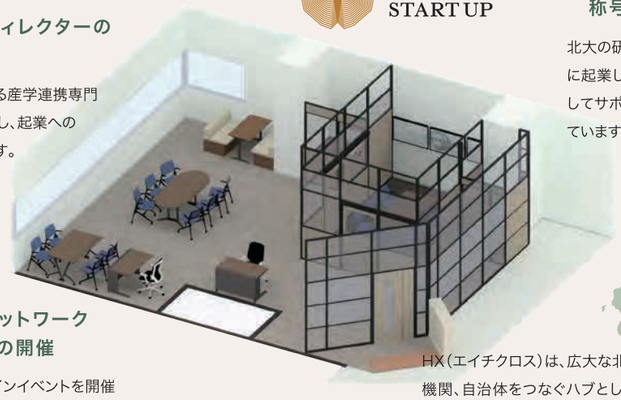
小樽商科大学と北海道大学は2021年10月、大学等の研究機関から生まれるスタートアップを支援するためのプレインキュベーション施設を北海道大学フード＆メディカルイノベーション国際拠点内に開設。スタートアップ支援をはじめ、起業に関する定期的なイベントや勉強会を開催しています。

HX
HOKKAIDO TRANSFORMATION
CROSS SPACE

HOKKAIDO UNIVERSITY START UP

❶X（クロス）ディレクターの相談窓口

両大学から派遣される産学連携専門教員及び職員が駐在し、起業への相談業務に対応します。

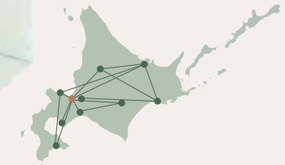


❷X（クロス）ネットワークミーティングの開催

毎月１回程度オンラインイベントを開催し、起業に興味のある研究者・学生の交流会を実施しています。

❸北大発スタートアップ称号付与制度

北大の研究成果を社会実装するために起業したスタートアップを、大学としてサポートする認定制度を導入しています。



HX（エイチクロス）は、広大な北海道に点在する大学や研究機関、自治体をつなぐハブとして機能します。ノウハウやナレッジの集積だけでなく、単独では困難な起業支援などを遠隔で提供するポータルとしての役割も果たします。

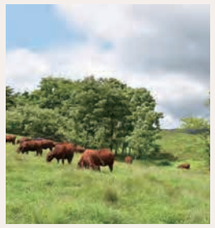
INFORMATION 広報・情報発信

■ 北大ブランド

本学の研究成果や成果物を活用し、かつ北大のシンボルマークや名称等の使用が認められた商品を「北大ブランド認定商品」としています。一部の商品は学内の店舗だけではなく、各企業の店舗や土産物店、インターネット等でも購入する事ができます。

北大ガゴメ®

北海道大学大学院水産科学研究院では、養殖期間を通常の1/3にしながらフコイダンを2倍以上に増加させる独自の栽培技術を開発。「北大ガゴメ®」は、この技術によって養殖されたガゴメ昆布の名称であり、北海道大学の登録商標です。



北大短角牛

北大短角牛は、北海道大学「静内研究牧場」で、放牧を主体として、子育てし、草を食べて育つ日本短角種の牛です。牧場外部から持ち込む化学肥料や購入飼料を極力少なくし、牛の健康にも配慮した持続可能な家畜生産システムで育てられています。

認定商品一覧

- 札幌農学校 ：株式会社Kコンフェクト
- 北大グッズ各種：株式会社エルムプロジェクト
- 永遠の幸（ロースハム）：丸大大金ハム株式会社
- ポプラ並木（日本酒）：日本清酒株式会社
- CS1（スマホ画面の汚れ防止）：株式会社NAZCA
- HOKUDAI Clark's Milkシリーズ：株式会社北海道農村研究所
- ナノ型コンドロイチン：丸共バイオフーズ株式会社
- 北大ガゴメ使用化粧品各種：有限会社ソワル・インターナショナル／株式会社HSC COLLAGEN
- 北大石鹸：北海道マリンイノベーション株式会社
- 博物館オリジナルグッズ各種：特定非営利活動法人 手と手
- 林檎（北大産リンゴ使用シードル）：エミプラスラボ合同会社
- うしからもらったアイス：株式会社ダイマル乳品
- 北大がごめ昆布飴：株式会社アイ・ティ・エス
- 北大おかき：株式会社北海道米菓フーズ
- 北大どら焼き：セイコーリテールサービス株式会社
- 函館産北大ガゴメ®もっちりボール：日糧製パン株式会社
- おしょろ丸カレー：株式会社五島軒
- SALT0（無塩パン）：株式会社ジューヴル
- リナグリーン21プレミアムエキス：DICライフテック株式会社
- 北大まるごと焼き林檎：株式会社ベリッシモ
- ネバ勝ち（サプリメント）：株式会社ゴーゴーゴー
- まるごと道産素材：株式会社香貴
- 北大短角牛：株式会社北の牧場舎
- アノトキ – 燻製珈琲 –：株式会社RITARU
- 北大短角牛ビーフジャーキー他：合同会社サルーミハヤシ
- 北大短角牛ハンバーグ：株式会社ひだかミート

■ 北海道大学 研究シーズ集Webサイト

北海道大学の研究シーズ技術をより多くの方に、より快適に見ていただくため、「北海道大学研究シーズ集Webサイト」を2018年4月にオープンいたしました。当サイトでは、見やすさ、探しやすさを重視して設計をいたしました。全文検索や、分野、キーワードなどから北海道大学のシーズ技術をお探しいただけます。注目の技術や、話題の技術、世界的に優位性のある技術についてご紹介をする、「注目シーズ」、ライセンス可能な特許を確認いただける「開放特許情報」など、ここでしか見られないような独自のコンテンツも充実しています。共同研究や、課題解決探しなどにご活用下さい。

キーワードで検索
SDGsで検索

閲覧数ランキング、研究キーワードランキング、閲覧履歴、注目シーズ、新着シーズ、開放特許と知りたいカテゴリーで検索できます。

研究シーズ集Webサイト▼

掲載部局

- 文学研究院
- 法学研究科
- 情報科学研究院
- 水産科学研究院
- 地球環境科学研究院
- 理学研究院
- 薬学研究院
- 農学研究院
- 先端生命科学研究院
- 教育学研究院
- メディア・コミュニケーション研究院
- 保健科学研究院
- 工学研究院
- 経済学研究院
- 医学研究院
- 歯学研究院
- 獣医学研究院
- 公共政策学連携研究部
- 北海道大学病院
- 低温科学研究所
- 電子科学研究所
- 遺伝子病制御研究所
- 触媒科学研究所
- スラブ・ユーラシア研究センター
- 情報基盤センター
- 量子集積エレクトロニクス研究センター
- 北方生物圏フィールド科学センター
- 観光学高等研究センター
- 北極域研究センター
- 創成研究機構

■ 北海道大学産学連携メールマガジン

北海道大学の産学連携に関する情報を、月に1度のペースで発信しています。一押しの研究シーズ情報、研究成果、勉強会・セミナー開催情報や企業と研究者とのマッチングイベント情報のほか、北海道大学の特色ある部局紹介など各種情報を発信しています。また「北大ブランド」として、企業とのコラボ商品等についてもご案内しております。この機会に是非、メールマガジンへのご登録をお願いいたします。各検索サイトから「北大産連メルマガ」で検索、もしくは以下のURL、右記QRコードよりご登録いただけます。

メルマガ新規登録

メールマガジンの登録はこちら▶https://www.mcip.hokudai.ac.jp/pub/mail_magazine/entry.html

ACCESS MAP

産学連携推進本部（2階）

社会・地域創発本部（1階）

自動車・タクシー
札幌工業高校より東進
（札幌駅より約10分）

徒歩
地下鉄北18条駅より
→徒歩約20分

中央バス［西51］
札幌駅前より乗車（乗車時間16分）
→北21条西15丁目下車、徒歩約5分

構内循環バス（8:30～20:30）
無料の循環バスをご利用下さい
→創成科学研究棟前下車

ワンストップ窓口 WEBサイト
https://www.mcip.hokudai.ac.jp/about/onestop.html

北海道大学 研究シーズ集 WEBサイト
https://seeds.mcip.hokudai.ac.jp/

北海道大学 産学・地域協働推進機構 〒001-0021 北海道札幌市北区北21条西11丁目 https://www.mcip.hokudai.ac.jp/

【産学連携推進本部】北キャンパス総合研究棟3号館2階 【社会・地域創発本部】フード&メディカルイノベーション国際拠点1階